



## シックスセンスズ ブータン 4 軒目のロッジ、シックスセンスズ ガンテが間もなくオープン！

2019年10月

[シックスセンスズ ブータン](#)は、今年初めのティンプー、パロ、プナカの 3 軒のロッジのオープンを成功裏に収め、ブータン王国ならではの豊かな歴史的、精神的、文化的な魅力を存分に味わえる特別な体験で人気を博しています。そして、オープン間近となった 4 軒目のシックスセンスズ ガンテに対する期待も高まっています。

シックスセンスズ ガンテは、10月のオープンで幸先の良いスタートを切ります。心地よい晴天が続き、聖なる鳥である黒首鶴が、越冬のためにチベットからヒマラヤ山脈を越えて飛来してくる季節です。鶴の観察に最適な橋のような大きなガラス張りの建物が特徴的なこのロッジは、“トラディショナル・バードウォッチング・ブリッジ”（伝統的な野鳥観察の橋）の名称でも親しまれています。敷地内の最高地点は標高3,000メートル（9,843フィート）と非常に高く、黒首鶴の営巣地やポブジカ谷を見渡せる180度のパノラマビューをお楽しみいただけます。保全地区に指定されているポブジカ谷は、氷河によって削り取られたユニークな地形を形成し、なだらかな丘陵、松林、農村が点在する緑豊かな湿地が広がっています。

ロッジのデザインは地元農家の住宅から着想を得ており、地産の石と手斧で伐採された木材を取り入れています。ブータンの伝統技術を用いた建築様式で周辺環境に溶け込むように佇むロッジは、図書室と娯楽室がダイニングエリアから一続きで配置されている間取りも特徴的です。

総数8室のスイートはいずれも谷に面したバルコニーを擁し、絶景のパノラマビューをお楽しみいただけます。プライベートの屋外バルコニーは、デイベッドのほか、野鳥観察用の双眼鏡も備えています。2ベッドルームヴィラは、プライベートのスパトリートメント施設を完備し、リラックスした至福の時間を満喫いただけます。インテリアは、美しく整えられたラインパターン、アースカラーの自然なパレット、温かな織物の組み合わせが絶妙です。客室内は、風雨にさらされて上品な味わいを増した木材の床と質感のある壁を背景に、座り心地の良い革張りのアームチェアとフットスツールが配置されており、数日間にわたるトレッキングや探索で疲れた体を癒すのに最適な空間です。ブカリ（ブータン伝統の薪ストーブ）と地産のラグマットが、満天の星の夜をさらに暖かくしてくれます。

ウェルネスに特化しているシックスセンスズは、シックスセンスズ ガンテにおいても、充実した設備とサービスを完備したスパを併設します。2室のスウェダナ（発汗療法）専用ルームでは、ハーブを活用したスチームセラピーをお楽しみいただけます。すべてのトリートメントは“気づきの旅”から始まり、パワーストーンのソーダライトが、ポジティブなマインドへと導く呼吸法と瞑想の効果を高め、ブータン式の詠唱とシンギングボウルの倍音が、静寂、幸福、ウェルビーイングの感覚を研ぎ澄まします。

ダイニングは、ブータンならではのメニューでゲストをもてなします。シグネチャーレストラン「Baa Zam」は、ゾンカ語の「橋」に由来し、風味豊かな西洋料理に加え、ローカルフードにインスパイアされた料理を提供します。メニューには、地元で収穫された短粒種の白米を使用した「こんがり焼きカボチャのリゾット」や、ポブジカ谷で有機栽培されたジャガイモやソバを使用したパスタのようなシグネチャー料理「Bjobchee Takthuk」が含まれます。

2019年10月 | シックスセンスズ ブータン 4軒目のロッジ、シックスセンスズ ガンテが間もなくオープン！

絵のように美しい17世紀に建造されたお寺「ガンテ・ゴンパ」は、仏教の学びと瞑想の中心地であり、毎年11月に開催されるカラフルな黒首鶴祭りの会場です。また、松林に沿って曲がりくねった溪流や祈りの旗が並ぶ草原を散策できるルートが多数整備されており、トレッキングやサイクリングに最適です。

シックスセンスズ ガンテでのご滞在のみをご希望されるゲスト向けの宿泊プランに加え、4軒のロッジすべてを巡るオーダーメイドのプランも取りそろえ、ブータンの各地域が提供する様々な体験を希望されるゲストのご要望に応えます。

シックスセンスズ ブータンの5軒目のロッジは、2020年3月にオープン予定です。

より詳しい情報、ご予約、ご旅行の手配は、リゾートの予約部門までメールにてお問い合わせください。  
(Email: [reservations-bhutan@sixsenses.com](mailto:reservations-bhutan@sixsenses.com))



ボブジカ谷を一望できる“トラディショナル・バードウォッチング・ブリッジ”  
[高解像度の画像はこちらからダウンロードしてください。](#)



180度のパノラマビューを楽しめるシックスセンスズ ガンテのロッジスイート  
[高解像度の画像はこちらからダウンロードしてください。](#)



シックスセンスズ ガンテ内 “トラディショナル・バードウォッチング・ブリッジ”  
に位置するシグネチャーレストラン「Baa Zam」  
[高解像度の画像はこちらからダウンロードしてください。](#)

### **About Six Senses Bhutan**

人里離れたヒマラヤ山脈の王国、ブータンの西部と中央部に広がる5つの美しい谷に建つ、個性豊かな5軒のロッジを起点とするユニークなアドベンチャーを提供します。日の出を拝むサンライズ瞑想から、ホリスティックなスパトリートメント、占星術、バターランプを灯すセレモニー、ヒマラヤの絶景を楽しめるハイキング、原生林の森や山でのトレッキングまで、“幸せの国” と呼ばれるブータン王国ならではのアクティビティをご満喫いただけます。希望にあふれた有意義な体験を通じて、ゲスト自身や周辺環境と再びつながり、より満ち足りた気持ちでお帰りいただけるでしょう。

シックスセンスズ ブータンは、一生忘れられない思い出となり、さらに一度立ち止まってゲスト自身や世界を見つめ直す機会となる特別な体験を提供することを目的としています。首都のティンパーから、パロ、プナカ、ガンテ、ブムタン、パロまで、すべてのロッジは、ゲストが各地域のローカル文化に完全に溶け込めるようにデザインされています。

### **About Six Senses Hotels Resorts Spas**

#### **Six Senses Hotels Resorts Spas**

シックスセンスズ (Six Senses)、エバソン (Evason)、シックスセンスズ スパ (Six Senses Spas)、レーズンデートル (Raison d'Être) のブランド名にて、現在14ヶ国、19軒のリゾートとホテル、そして37軒のスパを運営する、世界屈指のラグジュアリーホテル、リゾート、スパのオペレーターです。このほか、18軒の開発プロジェクトも進行中です。シックスセンスズは、2019年2月に、IHG® (インターコンチネンタルホテルズグループ) のファミリーの一員になりました。

**Six Senses** 全てのプロパティは、地域コミュニティとの共生、サステナビリティ、ウェルネス、オリジナリティにあふれたデザインに対するリーダーシップとコミットメントを共有しています。島滞在型リゾート、山岳リトリート、アーバンホテルなど、いずれのタイプのプロパティにおいても、ゲスト自身や周囲の人々、そしてゲストを取り巻く世界とのつながりを再構築できるようサポートすることを目的としています。

**Six Senses Spa** 専門セラピストが監修する幅広いホリスティックウェルネス、リジュベネーション、ビューティトリートメントを提供しています。全てのシックスセンスズリゾートに併設されているほか、16軒の独立型スパを運営しています。セラピストの高い技術力と最先端テクノロジーを活用し、パーソナライズされたアプローチで、ゲストを深いウェルビーイングへと導きます。

**Six Senses Residences** 最上の暮らしを提案するシックスセンスズのレジデンスは、単独型と同ブランドのホテルやリゾートとの統合型の2つのタイプがあり、海辺の美しいプライベートヴィラから、山上の素朴なシャトー、広々としたアーバンハイダウェイまで、様々なスタイルを取りそろえています。ロケーションにかかわらず、遊び心を大切に、学びと成長、美味しい食事と飲み物、先駆的なウェルネスプログラムとサステイナブルなライフスタイルを組み合わせたコミュニティの創造を共通理念に掲げています。

**Evason** シックスセンスズの理念を継承しつつ、家族連れや友人同士の旅行からハネムナーまで幅広い客層のゲストに満喫していただけるカジュアルなラグジュアリーリゾートです。現在、2軒のリゾートをエバソン (Evason) ブランド名にて運営しています。ご家族でお楽しみいただける思い出に残る体験を幅広く提供しています。

リゾートの予約： Six Senses Hotels Resorts Spas 0120-921-324

問い合わせ： [japan@sixsenses.com](mailto:japan@sixsenses.com) (日本語対応)

メディア関連の問い合わせ： ケントス・ネットワーク 03-3403-5328 / [info@kentosnetwork.co.jp](mailto:info@kentosnetwork.co.jp)